



三浦市議会だより

第 132 号
平成30年(2018年)5月1日
編集：議会だより編集委員会
発行：三浦市議会
〒238-0298
神奈川県三浦市城山町1番1号
☎ 046(882)1111内線462・463

第1回定例会

平成三十年度予算成立 国保税改定は賛成多数で可決



日本初、冷凍マグロ専用の「三浦市低温卸売市場」が開場

定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
3月1日	木	本会議	会期の決定、施政方針
2日	金	本会議	一般質問
5日	月	本会議	一般質問
6日	火	本会議	一般質問、議案の審議(説明・委員会付託)、予算審査特別委員会の設置並びに委員及び正副委員長の選任
7日	水	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査
8日	木	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査
12日	月	予算審査特別委員会	議案の審査
13日	火		
14日	水		
15日	木		
22日	木	本会議	議案の審議(総務経済・都市厚生・予算審査の各委員長報告・討論・採決)、人事案件(人権擁護委員)、閉会中継続審査申し出、報告

平成三十年第一回定例会は、三月一日から二十二日まで
の二十二日間を会期として開かれました。
今定例会では、平成三十年度各会計予算や三浦市国民
健康保険条例の一部を改正する条例など三十議案を審
議しました。

〈議会だより第132号の内容〉

定例会の経過と概要	1面
予算審査特別委員会	1～2面
常任委員会	2～3面
陳情の審査	3面
一般質問	3～6面
本会議における討論	7面
人事	7面
議会を学ぼう	7面
議案等の審議結果	8面
編集委員コラム	8面
次回定例会の予定	8面

予算審査特別委員会

議案の審査概要

平成三十年度の一般会計、特別会計(国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、市場、公共下水道、第三セクター等改革推進債償還)及び企業会計(病院、水道)の予算議案は、七人の委員で構成する予算審査特別委員会に付託され、四日間にわたり審査されました。

予算審査特別委員会

- 委員長 神田真弓
- 副委員長 小林直樹
- 委員 下田 剛
- 石橋むつみ
- 長島満理子
- 出口正雄
- 出口眞琴

総括質疑

市政全般にわたり市長に質疑

重点事業は

質問 三十年度予算編成の際に市長が重点を置いた事業は何か。

答弁 既存の魚市場の改修や三崎漁港の整備にも取り組んでいくが、一番大きな事業は三崎高校跡地の整備事業である。徐々に動きが出てきているし、市民も大変関心があるのではないかと考えている。

三高跡地の活用

質問 三崎高校跡地のB地区内道路の整備と、付近の国道交差点

改良に二億二千万円余りが計上されている。この計上額と整備内容を妥当と考えるか。

答弁 県費との関係なども踏まえて予算を計上したが、妥当な額だと自信を持って言うよりは、少しかかっていると思う。

整備内容については、全体の土地を活用するために必要なものと判断している。

水産業の振興

質問 三崎漁港への水揚げをふやすための新たな取り組みについてお聞きしたい。

答弁 新しくマグロ専用の市場ができることから、水揚げ船をふやす方策を卸団体とも相談し、奨励金の制度をつくることとした。

(その他の質疑項目)

- 子育て支援策の充実について
- ごみにかかわる業務の今後の体制について
- ふるさと納税の取り組み強化について

一般会計

歳入

- ・市税収入が減少している要因について
- ・高齢者ふれあいセンター用地の売却について

歳出

- 総務費**
 - ・市の正規職員数の減少と、業務負担の増加について
 - ・(仮称)市民交流センターとその周辺の整備について
- 民生費**
 - ・学童保育の入所児童数について
 - ・ファミリーサポートセンターや病後児保育の設置に向けた準備について

- 意見** 民生委員・児童委員の欠員を解消するための方策を検討してほしい。
- 衛生費**
 - ・子育て包括支援センターの役割について
 - ・ごみ収集業務の一部民間委託化について

- 意見** 市民の理解を求めながらごみ処理事業を進めていくには現場職員の役割は重要であり、民間委託には賛成できない。
- 農林水産業費**
 - ・野菜の品種改良の取り組みについて
 - ・種苗放流事業と磯焼け対策について

- 商工費**
 - ・公衆トイレの管理について
 - ・三浦国際市民マラソンの今後の課題について
- 土木費**
 - ・住宅リフォーム助成事業の実施方法について
 - ・空き家等対策計画策定の進捗状況について

後期高齢者医療事業

●**意見** 後期高齢者医療制度自体に反対である。

介護保険事業

- ・介護給付費の増加傾向について
- ・介護認定に係る体制について

市場事業

- ・低温卸売市場の維持管理費と初取引の時期について
- ・遠洋マグロはえ縄漁船への奨励金について

●**意見** 低温卸売市場ができたことから、三崎マグロのブランドを生かして水揚げ量をふやせるように努力してほしい。

公共下水道事業

- ・管路調査の結果と今後の対応について
- ・コンセッション方式導入に関する検討状況について

教育費

- ・姉妹都市国際交流事業の実施内容と参加者負担金について
- ・小中学校の施設整備について

公債費

- ・起債残高の見込みが増加した要因について

特別会計

国民健康保険事業

- ・一般会計からの繰入額の減少について
- ・人間ドック受診の負担額について

意見

- ・三十三年度からの制度改正で保険料が上がり、市民負担がふえるため、本予算には賛成できない。

企業会計

病院事業

- ・医療職員の確保について
- ・地域包括ケア病床を増床することによる収益の見込みについて

●**意見** 二十九年度も前に行われました。

常任委員会

議案・陳情の審査

総務経済

- ◎三浦市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ◎三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
- ◎三浦市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

意見

- ・低温卸売市場ができたことから、三崎マグロのブランドを生かして水揚げ量をふやせるように努力してほしい。

意見

- ・公共下水道は市民の生活に欠かせない事業であり、コンセッション方式の導入で運営権を民間事業者に渡してしまうことは問題である。

第三セクター等改革推進債償還事業

- ・土地貸付収入が減少した理由について
- ・基本協定締結に向けた検討が進んでいる二町谷の埋立地につ



年に続いて赤字が見込まれるので、経営改善を図って黒字化できるように努力してほしい。

水道事業

- ・老朽管更新の実施箇所について
- ・水道料金値上げの可能性について

質疑終了後は、討論が行われました。

一般会計

- 小林直樹副委員長より、市職員が不足している状況であり、市民サービスの低下を防ぐために適切な対応が求められること等が反対の理由として述べられました。

国民健康保険事業

- 小林直樹副委員長より、保険税の値上げを行い、市民に負担を押しつけること等が反対の理由として述べられました。

○長島満理子委員より、将来の財政健全化を見据え、「三浦みらい創生

市三崎水産物地方卸売市場の面積を変更するものです。

(質疑の主な項目)

- ・新たにふえた面積の内訳について
- ・既存市場の改修工事の内容について
- ・移設する冷凍マグロ一次加工処理施設の利用予定団体との協議内容について

意見

- ・今回の改正は、社会情勢に適應するよう給料等の引き上げを行うものであるが、市内の厳しい情勢を認識した上で、今後の業務に当たってほしい。

市一般会計補正予算(第六号)

- ◎三浦市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例
- ◎三浦市指定居宅介護支援等に関する基準を定める条例

都市厚生

- ◎三浦市指定居宅介護支援等に関する基準を定める条例
- ◎三浦市指定居宅介護支援等に関する基準を定める条例

プラン」や財源対策検討委員会の検討をもとに予算編成に努めたこと等が賛成の理由として述べられました。

国民健康保険事業

- 小林直樹副委員長より、保険税の値上げを行い、市民に負担を押しつけること等が反対の理由として述べられました。

○長島満理子委員より、将来の財政健全化を見据え、「三浦みらい創生

本補正は、歳入歳出計への繰入金計上されているため、賛成できない。

(質疑の主な項目)

- ・ごみ収集事業費を減額した理由について
- ・菊名橋の修繕工事の延期と、それに伴う浜諸磯陸橋の改修への影響について

意見

- ・本補正には後期高齢者医療事業特別会費を減額した理由に行いました。

市一般会計補正予算(第七号)

- ◎三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ◎三浦市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
- ◎三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例

意見

- ・本補正は、歳入歳出計への繰入金計上されているため、賛成できない。

問であることが反対の理由として述べられました。

後期高齢者医療事業

- 小林直樹副委員長より、後期高齢者医療制度そのものに反対していることが反対の理由として述べられました。

○小林直樹副委員長より、本会計が、二町谷埋立事業の失敗で生じた借金を返済するため

市一般会計補正予算(第七号)

(質疑の主な項目)

- ・本補正は、歳入歳出計への繰入金計上されているため、賛成できない。

意見

- ・本補正は、歳入歳出計への繰入金計上されているため、賛成できない。

市一般会計補正予算(第七号)

- ◎三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ◎三浦市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
- ◎三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例

意見

- ・本補正は、歳入歳出計への繰入金計上されているため、賛成できない。

問であることが反対の理由として述べられました。

第三セクター等改革推進債償還事業

- 小林直樹副委員長より、本会計が、二町谷埋立事業の失敗で生じた借金を返済するため

市一般会計補正予算(第七号)

市一般会計補正予算(第七号)

(質疑の主な項目)

- ・本補正は、歳入歳出計への繰入金計上されているため、賛成できない。

意見

- ・本補正は、歳入歳出計への繰入金計上されているため、賛成できない。

市一般会計補正予算(第七号)

- ◎三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ◎三浦市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
- ◎三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例

意見

- ・本補正は、歳入歳出計への繰入金計上されているため、賛成できない。

- ・本補正は、歳入歳出計への繰入金計上されているため、賛成できない。



※コンセッション方式……料金収入がある公共施設の事業運営において、市が所有権を有したまま民間事業者が施設を利用して事業を行う手法

率を定めるほか、政令の改正に伴う規定の整備を行うものです。
 (質疑は特にありませんでした)
 ◎三浦市指定介護予防支援等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
 本案は、省令の改正に伴い、規定の改正を行うものです。
 (質疑の主な項目)
 ・今回の改正の目的について
 ◎三浦市地域福祉センター条例を廃止する条例
 本案は、三浦市地域福祉センターを廃止するものです。
 (質疑の主な項目)
 ・近年の施設修繕に要した費用について
 ・廃止に伴い開催場所が変更となる心身障害児生活訓練会への通所者の送迎について

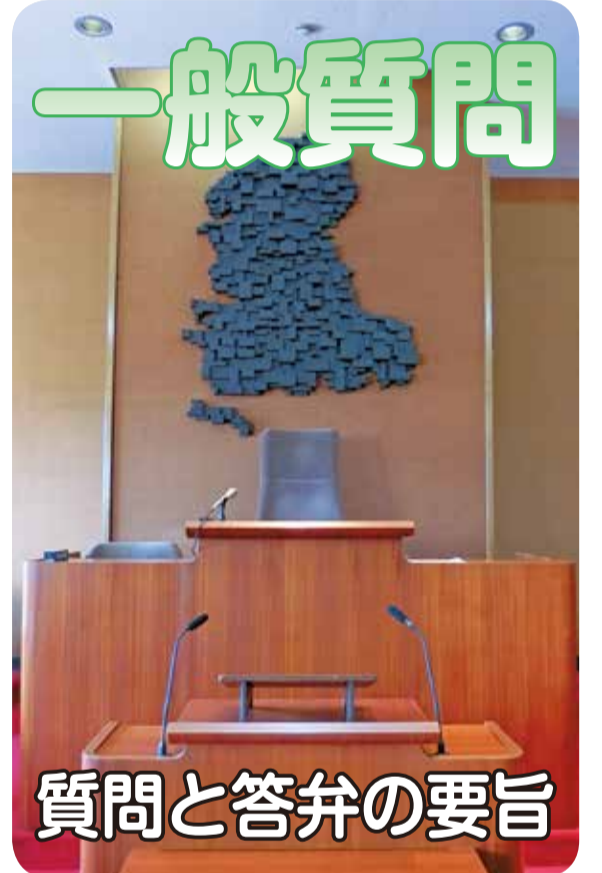
常任委員会での陳情の審査結果

3月定例会では、新たに提出された陳情はありませんでした。継続審査中の陳情27件を審査し、今回、審査を終えた陳情は、次のとおりです。
 そのほかの26件は、引き続き審査を行っていきます。

所管委員会	件名	結果
都市厚生	「薬害肝炎救済法の延長を求める意見書」の採択を求める陳情	審議未了

二十五万四千円を減額するものです。
 (質疑の主な項目)
 ・一般被保険者療養給付事業費を減額した理由について
 ◎平成二十九年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第一号)
 本補正は、歳入歳出それぞれ八万九千円を追加するものです。
 (質疑の主な項目)
 ◎後期高齢者医療制度自体に反対しているため、本案に反対する。
 ◎平成二十九年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第三号)
 本補正は、歳入歳出それぞれ一億五千五百四十九万一千円を追加するものです。
 (質疑の主な項目)
 ◎平成二十九年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算(第三号)
 本補正は、歳入歳出それぞれ九百四十三万七千円を減額するものです。
 (質疑の主な項目)
 ・受益者負担金による収入の見込みについて
 ◎市道路線の認定について
 本案は、開発行為に伴い、一路線の認定を行うものです。
 (質疑の主な項目)
 ・新しい市道付近にできたカーブミラーの設置者について

- 子育て賃貸住宅の整備 (日本共産党 石橋むつみ).....3面
- 移住者獲得に向けた奥の手は (自由民主党 出口正雄).....4面
- 新しい人の流れ (無所属 下田 剛).....4面
- 出会いの機会を創出 (みうら市政会 長島満理子).....4面
- 今後の施設利用は (日本共産党 布川照美).....5面
- スーパー進出による観光振興 (無所属 寺田一樹).....5面
- 三浦スポーツ公園 (みうら市政会 出口眞琴).....5面
- 第7期介護保険事業計画 (日本共産党 小林直樹).....6面
- 子育て世代包括支援センター (みうら市政会 神田眞弓).....6面
- 新しい誘客エリアの開拓 (みうら市政会 草間道治).....6面



開かれた市政を
 三浦市では、平成二十二年にパブリックコメント(パブコメ)制度を導入した。これは、市民に行政参画の

また、三浦半島地区の建設業者を対象に、子育て賃貸住宅の整備に関する検討会を開催しており、事業実施の課題や条件等について活発な意見交換が行われている。

子育て賃貸住宅の整備

パブリックコメント、マイナンバー制度
 日本共産党 石橋 むつみ

質問 南下浦市民センターと子育て賃貸住宅整備に関する検討経過を伺いたい。
 市は、市民センターの機能を保持し、子育て賃貸住宅を加えた複合施設の整備を考えるとしている。生涯教育やコミュニティの拠点として、また子供から大人まで住民みんなの居場所として、まちづくりの中で豊かな内容を持った場所にするという視点で取り組んでほしい。
市長 コンサルタントと基本的なプランを検討しており、三月末には検討結果が報告される予定である。
 また、南下浦、初声の建設業者を対象に、子育て賃貸住宅の整備に関する検討会を開催しており、事業実施の課題や条件等について活発な意見交換が行われている。



南下浦市民センター

機会を提供し、行政運営の透明性の向上を図るものである。
 しかし、市民がパブコメの実施に気づかなかったという声が聞かれる。広報「三浦市民」への掲載や市庁舎の市民交流スペースの活用など、市民に知らせる手法を研究すべきだ。
総務部長 現在、パブコメに関する周知は市のホームページ上で行っており、新着情報やトピックス等の複数のページからパブコメ募集のページに行けるように工夫をしている。また、南下浦、初声

本市でのマイナンバーカードの発行枚数、制度導入のためにかかった市の財政負担額をお聞きしたい。
市民部長 平成三十年一月末時点で四千六百六十枚が発行された。市の負担額は、システム改修やセキュリティ強化のために約二千五百万円を要している。

の両出張所等に配架して、ホームページを閲覧できない方々への周知にも努めている。
質問 マイナンバー制度は欠陥のある制度であり、導入には当初から反対を込めてきた。市には個人情報保護、安心・安全を最優先し、自治体の自主性、自立性を再確認しながら運営を行ってほしい。

移住者獲得に向けた奥の手は

津波対策、ドライブレコーダー

自由民主党 出口 正雄

質問 三浦市では、人口減少対策として、トリアルステイなど移住・定住促進に取り組んでいる。

人口減少に悩む他の自治体もさまざまな施策を行っているが、これといった決め手に欠ける状況ではないかと思う。市長は、移住者獲得競争に勝つための奥の手を検討しているのか。

市長 奥の手というの

三浦市でも津波被害が懸念されている。施政方針で、県市合同の津波対策訓練は、国や県の機関にも協力いただく大規模な訓練となると述べているが、例えば米海軍など目玉になる機関の参加や、地域性に応じた訓練内容を検討しているのか。

はなかなかないが、南下浦市民センター用地への子育て賃貸住宅の整備は、子育て世帯のニーズに合った住宅と、市民利用のニーズに合った施設を複合的に整備するというところで、新たな取り組みだと思ふ。効果的な施策となるように検討したい。

市民の命を守る訓練 発生が危惧される南海トラフ地震は、

質問 発生が危惧される南海トラフ地震は、

公用車の事故対策

上、事故発生時の状況確認等が可能となり、事故防止の取り組みに有効だと考える。

現在は二台の公用車に設置し、運用しており、今後も順次、導入を図りたい。

質問 公用車による交通事故はあつてはならないが、人間が運転している限り、なくなることはない。公用車の事故では多額の賠償金が請求されるケースもあるので、客観的な判断材料とするためにドライブレコーダーを設置してはどうか。設置した車が市内を走ることで防犯カメラの役割も果たせると思うので、検討をお願いしたい。



公用車の事故防止を

新しい人の流れ

防災・減災、認知症を学ぶ

無所属 下田 剛

質問 三浦市では、新しい人の流れをつくることを目指した取り組みを進めている。

他の自治体では、コスプレイベントやゲームで町を盛り上げるといふイベントが開催さ

れている。三浦市でも、例えばゲームが気楽に集まり泊まれる町にして、今までにない新しい人の流れをつくるという考えはできないか。

経済部長 ゲームを活用して効果的に集客促進を行うには、ゲームにちなんだ土地であることや、企業と連携した仕掛けが必要である。今後、民間企業等からの提案や、三浦市が舞台のゲームが制作されるという情報があれば、その際に検討したい。

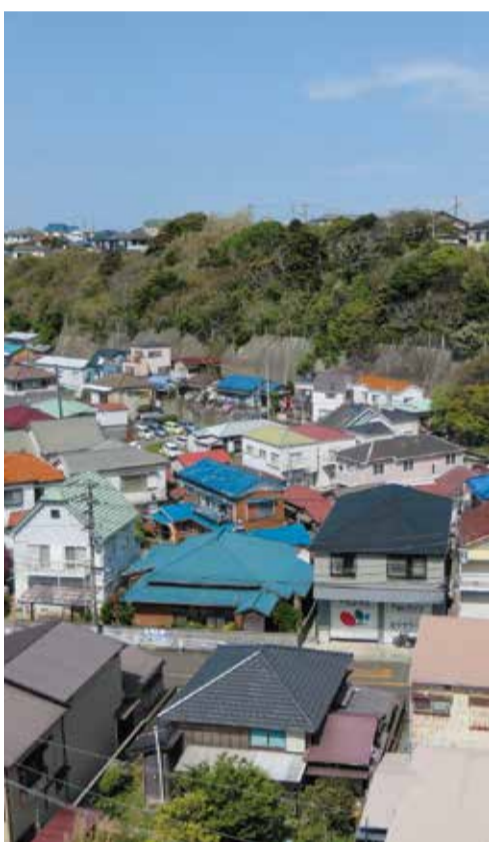
質問 ヘルメットの着用を市内の小中学校

では、避難訓練の際、児童・生徒が防災頭巾をかぶって避難をしている。

ヘルメットの着用は、置き場所、携帯性、購

防災頭巾は、防災加工のものを使用しているのか心配であり、また、衝撃の低減についても、数年座布団として使用したものが対応できると思えない。

教育部長 防災頭巾については、防災加工の有無、衝撃に対する弱さが課題の一つであると考えている。



住みなれた地域で安心して暮らす

質問 認知症とは、誰もが発症し得る、遺伝性のない病気である。

三浦半島で一番高齢

化率が高い本市は、認知症を多くの方に学んでもらうこと、理解してもらおうことが大切だと思ふが、市としてどのように考えるか。

保健福祉部長 認知症の方や家族が住みなれた地域で安心して生活するために、認知症に

対する誤解や偏見のない、認知症の方を受け入れて地域全体で見守る環境が重要だと認識している。

認知症施策については、効果的・効果的な普及啓発の手法を研究して、事業展開を行っていききたい。

出合いの機会を創出

観光解説板の整備、国際市民マラソン

みづら市政会 長島 満理子

質問 三浦市では、出合いの機会の創出を支援するため、農業後継者対策の婚活支援や、県の「恋カナー事業」との連携、NPO法人のイベントへの協力などを行っている。

官民が連携し、結婚支援や移住・定住につながるべく考えるが、今後の取り組みについて伺いたい。

市長 今後も継続した取り組みが必要だと認識している。具体的には、地元の団体が実行委員会の立ち上げ等により開催する出合いのイベントを支援していく考えであり、現在、協議を行っている。

また、成果を上げて他の自治体の例を参考にするなど、支援の充実に努めたい。

観光客の回遊性向上 三浦みらい創生プランの実施計画では、観光解説板整備事業として平成二十九年度に基礎調査、三十年度にサインプランの策定を行うことになっている。

基礎調査では、駅やバス停、観光拠点で観

マラソンと姉妹提携を締結している。ホノルルマラソンとは三十年以上にわたる交流を通じて、互いの大会をPRし、大会運営で参考とすべき点を吸収し合うなど、大会の成長と発展に欠かせない存在となっている。

今年の現地視察は、今大会にどのような生かされたのか。

市長 今年度のホノルルマラソンの現地視察では、給水所を初めとする各所で学生のボランティア等が大変多く、活気に満ち、市を挙げて大会を盛り上げていく印象を強く感じた。



3月4日に開催された国際市民マラソン

今後の施設利用は

グループホーム、教職員の現状

日本共産党 布川 照美

質問 三浦市地域福祉センターが廃止されることになった。知人は、元気な生活が続けられるように、毎週、健康体操に通っていたが、この三月で終了することだった。

運動が認知症予防に重要であることについては、研究機関によって科学的な仕組みが裏づけられている。体操教室などの利用について市に相談があった場合、対応はしているのか。

保健福祉部長 体操や運動は、健康増進、介護予防に効果があるので、市としても活動をサポートしていきたいと考えている。

利用できる施設としては、例えば旧三崎中学校の教室棟や勤労市民センターなどがあり、また、新しく開設される三浦市社会福祉協議会の施設においても受け入れが可能だと聞いている。

質問 全国的に教職員の多忙化が問題となっている。勤務実態を反映して精神疾患にかかる人が多いと言われているが、三浦市の小中学校の教職員で、長期にわたって休職している人はいるのか。

教育部長 現在、三浦市立小中学校で長期にわたって休職している教職員はいない状況である。

これは、各小中学校の児童・生徒が全体的に落ちついて生活していること、各校の管理職を中心に、教職員間の相談体制が整い、コミュニケーションがとれていることの結果だと捉えている。

質問 適切なサポートを

求めることが、その



廃止された地域福祉センター

後には、障害者に対する地域住民の理解の促進や未利用地の活用可能性なども含めて、設置に向けた検討を行っている。

質問 三浦スポーツ公園の多目的グラウンドやテニスコートは、大雨の際に雨水や土砂が流入し、使用できなくなる。このため、利用者は日程等の変更を余儀なくされ、大会運営などにも苦慮している。このようなことが起こらないよう、事前の対応ができないか。

都市環境部長 これまでも土砂が公園内に流入

しないように対策を講じてきたが、昨年の大雨では記録的な降雨量となり、土砂流入を防止できなかった。この要因としては、雨水排水施設に土砂が堆積し排水が阻害されたことが考えられるので、今後は雨水排水管の定期的な清掃を強化して、排水機能を確保する対策を講じたい。

早期の経営安定を

スーパー進出による観光振興

商店街の活性化、ごみ処理業務

無所属 寺田 一樹

質問 三崎高校跡地へ進出を予定しているスーパーには横須賀市からの顧客も見込まれているが、これは三浦をアピールするチャンスである。

同じ施設内に市民交流センターが併設されるので、三崎や三浦海岸の商店街や観光スポットへ誘導する仕組みをつくってほしい。

市民部長 市民交流センターには情報交流機能を設ける予定であり、各商店街や観光スポットへの誘導など、情報発信の場として活用していただければと考えている。

新たな取り組み 三崎下町を中心に行われるMISAKIぐるぐる春まつり二〇一八は、マゴロのよう

に町を回遊して楽しんでもらおうという企画であり、各店舗のPRや売り上げへの貢献が期待される。

これまで市民有志により実施されていたが、今回から市が地域活性化事業の一環として支援をしている。今までは、どのような変化があるのか。

経済部長 詳細は今後の実行委員会決定されるが、新たに空き店舗の活用を視野に入れた物件紹介ツアーや、子供向けの体験イベントを実施するほか、集客のメーンとなるイベントの検討も進めている。

新たな商店街活性化の一つとなるよう、支援していきたい。

質問 本市の水道事業は、平成三十年ころに経営が非常に厳しくなると見込まれている。市民生活に直結する課題であり、早期の経営安定が望まれるが、市長はどのように考えているか。

市長 水道事業の経営は大変厳しいが、本市の水道料金は県内で二番目に高く、さらなる値上げは人口減少や市内経済の低迷に拍車をかける懸念がある。

現在、上水道事業審議会に水道事業の経営のあり方について諮問している。この答申を踏まえて適切な策を講じていきたい。

委託業者の協力 本市では、ごみ回収業務が一部委託化されるが、これにより取り組みが縮小するようない。ごみ回収業務の削減などで大きな効果が出ている。

平成三十年度からごみ回収業務が一部委託化されるが、これにより取り組みが縮小するようない。ごみ回収業務の削減などで大きな効果が出ている。

都市環境部長 ごみダイエット大作戦では、一般ごみに含まれる水分率の目標を達成しておらず、今後も引き続き水切りの徹底を市民にお願いしていきたい。

水切りや分別の重要性について認識の共有を図るため、委託する業務内容にはごみダイエット大作戦への協力も含まれている。



ごみの収集業務



MISAKI ぐるぐる春まつり 2018

第七期介護保険事業計画

災害時の支援体制、三崎高校跡地

日本共産党 小林 直樹

質問 介護保険事業の第七期計画が策定された。計画では、地域支援事業のホームヘルプ事業とデイサービス事業について、先行的に住民主体のサービスを実施している他市町村からの情報収集や、関係機関との調整を行うとしている。

保健福祉部長 他市では、指定事業者の基準を緩和したサービスや住民主体のサービスの導入を予定しているところがあるので、これらの情報を参考に課題等を確認したい。

総務部長 避難行動要支援者に対する地域の支援体制を確立することとは、防災活動の基本である自助、共助を進める上で非常に重要なことである。

質問 三崎高校跡地のA地区にできるベイシニアスーパーマーケットは、平成三十年十二月の開店を予定している。しかし、施設等の実設計書の確認など、建設にかかわる手続きがまだ行われていない。また、店舗建設予定地を土砂の搬入場所として行われている盛り土造成工事が五月末まで延期された。このような状態で、

市長 株式会社ベイシニア側からは、平成三十年十二月までに店舗は完成するのかが、

市長 株式会社ベイシニア側からは、平成三十年十二月の開店を目指すと、現時点でスケジュールの変更はない。

新しい誘客エリアの開拓

学校施設の改修、企業誘致

みうら市政会 草間 道治

質問 みうら誘客プロモーション事業は、市長のトップセールスにより、順調に成果を上げている。

教育長 国の有利な補助メニューを利用する条件となる長寿命化計画を施設ごとに策定し、学校のリニューアルを行いたい。

市長 調整が順調に進めば、早ければことしの六月ぐらいには基本協定を締結する可能性もあると考えている。

質問 二町谷埋立地多目的活用事業用地への企業誘致は本市の最大の重要課題であり、一日も早く基本協定が締結できるように取り組んでほしい。

市長 現在、基本協定の締結に向けて契約候補者と協議を行っている。情報が乏しい中で少しずつ着地点が延びているように感じるが、市長はいつごろをめどに締結を考えているのか。

これにより、今後、サービス単価の低い介護サービスを導入していくようになるのか。

質問 東日本大震災の教訓から、災害時の避難に支援が必要な方(避難行動要支援者)に対する、地域での支援体制づくりが進められている。

体制を確立するには、手順の調整や支援者への要請など、かなりの労力がかかる。市の援助が必要だが、どのようになっているか。

市で援助をする必要があると考えているのか。

今回いただいた要望を初め、市民の皆さんからの意見を今後の子育て支援策に生かせるよう、取り組んでいきたい。

強く、他の草木を覆い、成長を妨げてしまう。多くの植物が生育する緑豊かな三浦の森を守り続けていくために、早期の対策が求められる。駆除用の除草剤をまくなど、対策はできないか。

都市環境部長 クズの駆除は繁殖力が非常に

放でも使用されるため、一日も早い改修工事が必要である。

計画の策定に要する調整や予算など、ハードルを一つずつクリア

まだ確定はしていないので、今後さらに詰めていきたい。

子育て世代包括支援センター

トーク&トーク、緑豊かなまちづくり

みうら市政会 神田 眞弓

質問 子育て世代包括支援センターが市役所分館二階の子ども課内に設置されるが、限られたスペースの中で、相談者のプライバシーへの配慮や、一緒に来

た子供の遊び場の確保はできるのか。

保健福祉部長 パーティションを設置して、プライバシーに配慮した相談しやすい環境をつくり、子供が遊べるスペースについてはマットを敷くなどして安全を確保していく。

市長 子育て真っ最中のお母さんからいただく意見は、大変貴重なものだった。地域の会館の開放や高齢者の皆さんとの触れ合いといったことは、大変いい視点だと思う。

有害植物であるクズは繁殖力が非常に

外国人観光客の誘致促進では、三浦国際市民マラソンの外国人ランナーへのアンケートなど、マーケティング調査を実施し、今後の効果的な誘致促進につなげていきたい。

改修工事の計画は 市内の小中学校施設は大規模改修が必要な状況だが、特に体育館は、授業以外にも入学式などの式典や災害時の避難所、学校開

放でも使用されるため、一日も早い改修工事が必要である。

計画の策定に要する調整や予算など、ハードルを一つずつクリア

まだ確定はしていないので、今後さらに詰めていきたい。



子育て中のお母さんとのトーク&トーク



三崎高校跡地の盛り土造成工事



一日も早い基本協定の締結を (二町谷埋立地)

本会議における討論

議案第20号 平成30年度三浦市一般会計予算

反対討論

日本共産党 小林直樹

三浦市の現在の職員数は定数より二百十名少なく、メンタルの病気で休職している者もいる。職員の数を抑えることで市民サービスが低下しないように、職員の健康管理や適切な職員採用を行うことを求める。

ごみの分別、減量を推進すれば、環境への負荷、市財政の支出を減らすことができる。水分率の高い生ごみを減量するには、キエロを普及する取り組みが有効である。また、ごみ収集業務の一部を民間委託することには賛成できない。

就学援助制度の支給額は、学用品費と新入学学用品費が国基準の二分の一であり、不十分な援助制度だと言える。また、支給対象世帯を横須賀市と同じ生活保護基準の一・五倍までとして、全ての子供たちが安心して教育を受けられるようにすることを求める。

地域経済と市民生活は大変な状況が続いている。無駄をなくし、公正で民主的な市民本位の行財政運営で、市民生活と営業を守ることを求めて反対する。

賛成討論

みうら市政会 出口眞琴

平成三十年度予算は、将来の財政負担を見据えつつ、市民の皆様にも極力負担をかけないような予算編成となっている。

歳入では、市税、国保税及び税外未収債権の徴収体制の強化による徴収率の向上、ふるさと納税による市内経済の活性化に期待がされる。歳出では、小児医療費無料化対象年齢の二学年引き上げや、小中学校の就学援助費の前倒し支給など、子育て支援の充実を図っている。また、(仮称)市民交流拠点整備事業では、市民交流センターと商業施設を整備し、市民が行き交う新しいコミュニティの場として期待されている。

新たな財源を捻出するためには、事業の在り方そのものについて根本的な見直しが必要となる。平成三十年度もさまざまな課題が山積しているが、明るい兆しもあり、吉田市長と職員が丸となって市民生活の向上を図れる市政運営を期待したい。

賛成討論

自由民主党 出口正雄

本市は、長引く景気低迷や人口減少が進む中で厳しい財政状況にあるが、平成三十年度予算編成に当たり、財源対策検討委員会では市全体の歳入歳出状況を勘案した見直しを行い、約三億五千万円の効果額を予算に反映させている。

歳出においては、水産振興として、三崎漁港の高度衛生管理化による日本初の冷凍マグロ専用卸売市場を開場する。また、小児医療費助成の対象者を現在の中学校一年生から中学校三年生まで引き上げ、新たにスタートする子育て世代包括支援事業では、総合的相談支援を提供する子育て世代包括支援センターを設置して、妊産婦に対し切れ目ない支援をしていくなど、積極的に子育て支援に努めている。

予算執行に際しては、本会議並びに予算審査特別委員会における議論及び審査内容を精査し、市民の皆さんがよりよい生活になるような取り組み、次世代を担う子供たちの夢や未来をサポートできるまちづくりを行政に望む。

人事

市長より、次の方を人権擁護委員として法務大臣に推薦することについて議会の意見を求める諮問が提出され、異議なき旨、答申しました。

人権擁護委員
仁藤 千枝里氏



ホームページのご案内

三浦市議会のホームページでは、会議の日程や議案の審議結果、提出した意見書、会議録、議会インターネット中継など、議会に関する情報がごらんになれます。



三浦市議会トップページ



会議録検索システム

議会を学ぼう

◎三崎小学校の六年生が、社会科の学習で、二回にわたって三浦市議会を見学しました。

まず、定例会開会前に議場を訪れ、議員席に座って議会事務局職員から議会の仕組みや役割、議場内の設備について説明を聞きました。(写真)

児童からは、議会の開催期間や国会との違いなど、多くの質問が出されました。その後、



議場内を自由に見学しました。

また、三月五日には本会議を傍聴し、議員が行う一般質問を真剣に聞いていました。

請願書・陳情書の提出方法

☆請願書・陳情書は、どなたでも提出することができます。

☆請願は、一人以上の紹介議員が必要となりますが、陳情は紹介議員の必要はありません。

☆書式等は、整理の都合上、次の例にならってください。

- ・用紙はA4版を使用し、横書きとしてください。
- ・趣旨は簡条書きにするなど簡潔明瞭に書いてください。
- ・内容が幾つかにわたる場合(道路問題と学校問題など)は、内容ごとに別の請願(陳情)としてください。

- ・請願(陳情)者が複数の場合は、代表者を決めてください。
- ・署名簿がある場合は添付してください。(コピーは不可。請願書への署名者は押印が必要です)
- ☆請願(陳情)者は、希望する場合、委員会に出席して趣旨説明をすることができます。(前日までの申し出が必要です)

- ☆請願・陳情は、市議会定例会で審査されます。提出期限は議会だより、ホームページでご確認ください。
- ☆請願(陳情)者の氏名などは、会議録等で一般に公開されますので、あらかじめご了承ください。
- ☆詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

(電話)八八二二二二 内線四六二二

(請願書の表紙)

〇〇〇についての請願書

紹介議員 〇〇〇〇 印
〇〇〇〇 印
(署名または記名押印)

(請願書・陳情書の本文)

〇〇〇についての請願(陳情)書

請願(陳情)の趣旨

請願(陳情)の理由

平成 年 月 日
三浦市議会議長 様

住所 〇〇〇〇 印
氏名 〇〇〇〇 印
(団体または法人の場合は名称、代表者氏名)

本会議での議案等の審議結果

〈全員賛成で議決した議案〉

【議案】	第1号 三浦市指定居宅介護支援等に関する基準を定める条例	第15号 平成29年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
	第2号 三浦市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	第17号 平成29年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
	第3号 三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	第18号 平成29年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第2号)
	第4号 三浦市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	第19号 平成29年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
	第5号 三浦市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	第23号 平成30年度三浦市介護保険事業特別会計予算
	第6号 三浦市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例	第24号 平成30年度三浦市市場事業特別会計予算
	第10号 三浦市介護保険条例の一部を改正する条例	第27号 平成30年度三浦市病院事業会計予算
	第11号 三浦市指定介護予防支援等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	第28号 平成30年度三浦市水道事業会計予算
	第12号 三浦市三崎水産物地方卸売市場条例の一部を改正する条例	第29号 市道路線の認定について
		第30号 平成29年度三浦市一般会計補正予算(第7号)
		【諮問】
		第1号 人権擁護委員の推薦について

〈賛否が分かれた議案〉 ○賛成 ●反対 一欠席

番 号	件 名	審議結果	みうら市政会					日本共産党			公明党	自由民主党	無所属		
			岩野 匡史	長島満理子	神田 真弓	出口 眞琴	草間 道治	布川 照美	石橋むつみ	小林 直樹	藤田 昇	出口 正雄	下田 剛	木村 謙蔵	寺田 一樹
【議案】 第7号	三浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	●	●	●	—	○	○	○	●	○
第8号	三浦市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	●	●	●	—	○	○	○	○	○
第9号	三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	●	●	●	—	○	○	○	○	○
第13号	三浦市地域福祉センター条例を廃止する条例	原案可決	○	○	○	○	●	●	●	—	○	○	○	○	○
第14号	平成29年度三浦市一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	○	●	●	●	—	○	○	○	○	○
第16号	平成29年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	※	○	○	○	○	●	●	●	—	○	○	○	○
第20号	平成30年度三浦市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	●	●	●	—	○	○	○	○
第21号	平成30年度三浦市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	●	●	●	—	○	○	○	○
第22号	平成30年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	●	●	●	—	○	○	○	○
第25号	平成30年度三浦市公共下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	●	●	●	—	○	○	○	○
第26号	平成30年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	●	●	●	—	○	○	○	○

※議長は表決に加わらない

議会を傍聴しませんか

平成30年第2回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月 日	曜日	会 議 名 等
6月6日	水	招集告示
8日	金	議会運営委員会(日程・審議方法等決定)
13日	水	本会議(一般質問)
14日	木	本会議(一般質問)
15日	金	本会議(一般質問)
18日	月	総務経済常任委員会
19日	火	都市厚生常任委員会
22日	金	本会議(委員長報告・採決)

※請願・陳情の提出期限は6月7日(木)です。

◆三浦市議会の本会議及び委員会は公開されていますので、自由に傍聴することができます。傍聴を希望する方は、市役所本館4階の受付で、住所、氏名、年齢を記入してください。

◆お問い合わせは議会事務局へ
電話 046-882-1111 内線462・463

編集委員コラム

つい先頃、逗子市議会選挙が行われました。議員定数十七名、立候補者二十三名と激戦でした。

私が三浦市議会選挙に立候補した時の定数は、一期目は二十一名から十八名、二期目は十八名から十五名、三期目は十五名から十三名と選挙をするたびに定数削減となりました。

確かに三浦市の財政は厳しいですが、それだけで解決する事ではないと思います。市長を初め、議員・職



出口 正雄

員が一丸となって三浦市をもっともっと発展させ、若返りを考えなくてはならない時期だと思っています。私を含め六十歳以上の議員が十名と、三分の二以上を占めます。わが三浦市を愛する若者たちが興味を持つ郷土にする事を未来に託したい。生まれ、三浦市を心から思う若者達。